

トピックス

国際交流の推進など、竹崎町長の話聞く本町議会訪問団



輝くふるさと常任委員会 県外視察研修レポート

輝くふるさと常任委員会の県外研修は、9月5日から8日まで鹿児島県南九州市(旧知覧町)及び熊本県芦北町を訪問しました。

旧知覧町では、同町の歴史から平和のあり方を学び、芦北町では、「個性の光る活力あるまちづくり」と「国際交流の推進」について研修しました。

▽9月6日(火)

【旧知覧町】

知覧町の武家屋敷群は、国選定重要伝統的建造物群保存地区に指定され、生け垣と石垣が美しい江戸時代の武家屋敷が連なり、庭園に周囲の山々を取り込み、箱庭のような趣は「薩摩の小京都」と呼ばれるにふさわしい町並みを形成していました。そうした落ち着きと静けさを感じさせる一方で、当地は、太平洋戦争時代に陸軍特攻隊の知覧飛行場があった町で、特攻平和記念館には、知覧飛行場から飛び立ち、はるか南の洋上に散った若い隊員たちの遺影や遺品、戦闘機などのほか、家族や故郷への思いをつづった手紙や手記などが展示され、戦争の悲惨さと特攻隊員の無念さを語り継いでいました。

▽9月7日(水)

【芦北町】

芦北町は、面積233.7平方キロ、人口約2万人の町で、

「すべては子どもたちのために」をテーマとし、先人の築き上げた歴史、文化、伝統を基にして、地域資源を活かしながら「個性の光る活力あるまちづくり」を進めていると、竹崎一成町長は話していました。

特徴的なまちづくり

- ①地区担当職員を配置し、文化活動、環境整備など、行政区単位の自主的活動に対し、経費の8割を助成(上限50万円)。
- ②地元材での新築・増築に1坪2万5000円(上限:新築200万円/増築50万円)を助成。
- ③スクールバスに一般住民も乗車し、子どもたちとのふれあいの場を形成。
- ④ホテルの保護を目的に「保護条例」を制定。

国際交流の推進

自主的活動としてカンボジア学校建設募金を実施し、これまでに4校を建設したほか、青年海外協力隊派遣条例を制定し、町職員を派遣する一方で、海外の自治体職員を受け入れるなど、国際感覚を持った人材の育成に努めています。

(広報発行常任委員長 小谷地喜代治)

情報公開

議長が議会の対外的活動をするための経費が議長交際費です。各団体の総会、式典の会費が主なものです。

- 7月 14,000円 (盛岡北部畜産共進会ほか)
- 8月 37,000円 (葛巻ふるさと会総会ほか)
- 9月 25,000円 (星野萩まつりほか)

編集後記

秋祭りも終わって、一カ月が過ぎましたが、まだ、お囃子が聞こえるような気がします。

ふと気が付くと、山びどう、新そばなど、今年も爽りの秋に、感謝せずにはいられない秋の夜。

議会中継は、くずまきテレビで見れますが、議会だよりで内容を再チェック!

広報発行委員

橋場 清廣